安芸太田町観光協会（tourism association）通信 第31号

広島県山県郡安芸太田町大字上殿632番地2（道の駅来夢とごうち内） ☎28-1800

安芸太田町の「田舎暮らし」と「人情」が織りなす「冬」の交流事業特集

①安田女子大学による困り事解決プログラム第２弾【修道地区 とんど祭りお手伝い】

急速な過疎化・少子高齢化の波も避けられず当地区の世帯数は147世帯、人口329人でそのうち高齢者は165人。高齢化率は、50.15％と安芸太田町の46.01％を大きく上回っています。

少子化の面でも、修道地区の中心に修道小学校がありますが、現在では児童数10名の小規模校です。

とんどの行事も子ども会の主導で行われてきましたが、子どもの減少で運営が難しくなり有志共催、今年より修道振興協議会が引き継ぐこととなりました。

そんな中、地域の伝統行事を守るため、再びかつての賑やかなとんど祭りをするために安田女子大学生とともに竹を切り出し、運搬、枝落とし、組み立て、祭り運営まで全て共同作業で行いました。

結果的に例年以上に華やかな声が地域にこだまし、楽しい１日を過ごすことが出来ました。地域の子ども達も高齢者も若い方々と交流が出来たことが本当に嬉しそうでした。

②安田女子大学による困り事解決プログラム第３弾【松原地区雪かき体験】一般参加者による【第３回 熱く雪かきします隊 in 松原地区】

３年目を迎えた松原地区での高齢者宅雪かき体験は、すっかり県内で「冬の風物詩」として定着しつつあります。

特に今年は、安田女子大学生と一般参加者の合同企画として総勢50名もの方々が参加してくださったことが特徴的でした。最年少は４歳、最年長は74歳と大変幅広く、老若男女入り乱れての賑やかな雪かきとなりました。

雪かきをしていただいた方は「若い者が来てくれるだけでも嬉しいのに雪がすっかり無くなって、家の中に明かりが入るようになり本当に有難かった」と言われてました。子どもに「雪」の厳しさを教えたいと、お子様連れが多かったことも驚きでした。

安芸太田町の森羅万象全てを活用し、都市部住民との交流を図るあきおおた町人情田舎体験の「原点」ともいえる本事業が益々発展していく予感がした１日でした。

③あきおおた人情田舎民泊＆体験
【沖縄県の中学生による雪国民泊＆雪国文化体験修学旅行】

一昨年からスタートした沖縄での営業活動が功を奏し、沖縄県の公立中学校としては史上初の広島修学旅行・民泊修学旅行・豪雪体験修学旅行がこの度無事に終了しました。当町訪問をメインの目的とした本事業では、雪国の民泊、雪文化体験、スキー場体験、平和学習等を受け入れました。

民泊では９家庭の方々にご協力いただき、２泊を受け入れていただきました。

雪文化体験、スキー場体験ではスノーボード教室を始め、スキー場を「雪の遊園地」に見立て、さまざまな遊びを一緒に実施しました。特に昨年から開始した太田川ラフティングのボートを活用した「スノーラフティング」が大人気でした。冬季は実施不可であるラフティングボートの有効活用の方策が定まったことが大収穫でした。

平和学習においても町内在住の被爆体験をお持ちの方が、これまで一切語られなかったご自身の体験や平和への切なる願いを同じく戦争の惨禍（さんか）で苦しんだ沖縄の子どもたちに訴えることが出来たのも大きな収穫でした。ちなみにこの学校も今後３年間安芸太田町への修学旅行を決めてくださいました。

そして今回の模様が沖縄に２度テレビ放映されます。

少しずつですが全国に安芸太田町を知っていただくようになり、そして来てくださるようになってきた幸せを噛みしめつつ、更に多くの安芸太田町を支えてくれる仲間づくりを進めていきたいと考えます。

今後とも町民の皆さんのご理解、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。